



竹井通信

創刊号（2015年新春号）

小平の未来づくりネットワーク
〒187-0041 小平市美園町1-1-15
TEL/FAX: 042-207-1232
E-mail: info@takeiyoko.com
公式HP: <http://takeiyoko.com/>

発行元 小平の未来づくりネットワーク 代表 竹井 ようこ

無所属

仲町在住の竹井ようこが訴えます

小平市は、豊かな自然に囲まれた東京近郊の都市として、大きな可能性を秘めています。竹井ようこは、市民の皆さんが愛着と誇りを持てる小平市を実現したい！そんな決意で頑張ります。

めざします

① 「子育てナンバー1」のまちに！



女性・母親・会社員
の視点。

『竹井ようこ』は、会社員として働きながら、現在大学生と高校生になる2人の子どもを育てました。この経験を活かして、「待機児童ゼロ」の実現・継続はもとより、家庭環境に関わりなく教育を受けられる機会の提供、教育現場の改善などに取り組み、子育て世代を応援します。

② ワーク・ライフ・バランスが実現できるまちに！

少子化対策は、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）なくして成り立ちません。『竹井ようこ』は、結婚・出産と仕事の両立、不妊治療支援、男性の育児参加促進などを通じ、働く人々のワーク・ライフ・バランス実現をめざします。

③ グローバルで通用する人材が育つまち、 若者が住み続けたいと思えるまちに！



東京オリンピックは、子どもたちにとって世界に羽ばたく大きなチャンスです。『竹井ようこ』は、英語教育の充実をはじめ、グローバル時代に対応した人材育成を追求します。また、時代を担う若者が活躍できる場を拡大させることで、若い世代がずっと住み続けたいと思えるような、活気あふれる小平をめざします。

④ 高齢者を孤独にしないまちに！

『竹井ようこ』は、高齢者が心身ともに健康で暮らせるよう、高齢者を孤独にしないまちづくりに取り組みます。介護が必要になった場合も、介護をする側・受ける側双方が「このまちで良かった」と思えるよう、ハード・ソフトの両面から介護行政の充実を図ります。

⑤ 最先端 I C T の活用で人と人をつなぐまちに！



子育て、人材育成、地域活性化、介護、防災・・・情報通信技術（I C T）には、あらゆるシーンで無限の利用価値があります。I C T企業での勤務経験を活かし、最先端 I C Tで人と人をつなぎ、育て、守ることをめざします。

あなたの「声」をお寄せ下さい

小平市政を
こうしてほしい！

竹井ようこ「小平の未来づくりネットワーク」

〒187-0041 小平市美園町1-1-15 TEL/FAX: 042-207-1232

E-mail: info@takeiyoko.com 公式HP: http://takeiyoko.com/

ご自宅でのポ
スター掲示等
へのご協力を
お願いします

「竹井ようこ」のプロフィール



21年前に結婚した時、親族初顔合わせの場で、今は亡き父が私のことを「取り立てて長所ありませんが、自分より他人のため一生懸命になれる娘です」と紹介してくれました。そのことがとても嬉しく、小さなことでも何か社会の役に立てるように頑張ろうと決めました。その後、仕事と育児を両立させる忙しい日々を過ごしなが、**「自分に何が出来るか」と考え抜いた結果、政治を志しました。**

小平市仲町在住

【略歴】

1966年 1月28日 滋賀県生まれ

名古屋市立菊里高校卒業

南山大学外国語学部英米科卒業

1988年 4月 日本電信電話(株)入社

国際部などで業務経験を積む

1991年 4月 (株)情報通信総合研究所出向

Didier & Associates法律事務所(ベルギー)派遣

欧州各国での情報通信政策について調査・分析

1994年 6月～98年 9月 出産・育児のため休業等

職場復帰後は育児に仕事に多忙な日々を過ごす

1999年 7月 NTTコミュニケーションズ(株)

情報通信の最前線で事業企画・法務などの業務に従事し、現在に至る

家族：夫、長男(大学生)、長女(高校生)、柴犬(5歳)

趣味：スポーツ観戦(ラグビー、バスケット、ラクロスなど)、社会派ドラマ鑑賞

好きな食べ物：鶏肉とこんにゃくの煮物(亡母のレシピ)

資格：中学校・高等学校教諭免許状(英語)

二級知的財産管理技能士

2児
の母



あなたの「声」を届けます

女性^{の視点}

「普通の女性の声」をもっと政治に！
当たり前の「市民の常識」を
小平市政に反映させます。

会社員^{の視点}

ベルギーでの海外勤務を含む豊富な
社会人経験を持つ竹井ようこは、
小平市政で「即戦力」になります。

母親^{の視点}

子育ての喜びと大変さを実際に
体験したからこそ、子育て世代の
リアルな声を小平市政に届けます。



編集後記



初めまして、仲町在住の竹井ようこです。このたびは、「竹井ようこ通信」創刊号をお手に取っていただき有難うございます。

竹井ようこは、寒さにも負けず、皆さんの「声」を小平市政に届けるべく頑張っていきます。街でお見かけになりましたら、ぜひお声掛け下さい！